



柳澤氏名鑑買手新進令
守至子孫五一尾落臣

一家静
針
新色

愛知県有物品

澤田氏名鑑買手眉山
松尾殿尾端儒官

八那多名匠
筆操通亮一月
獲新圖印
不出戶
眉山存

澤田氏名鑑買手
松尾殿尾端儒官

愛知県文化会館
昭 35.8.13 印
58091

A294

73
1-3-1

名所々々
八那多名匠
筆操通亮一月
獲新圖印
不出戶
眉山存
二十八歳正毅

深田氏名精号壹海城
 和喜深本精送官

山心之麗
 名之乃
 安者之
 筆

海城

吉原氏名元仲号壹山拾松五門
 致仕樓以安山号通和屋落位

春之麗
 名之乃
 安者之
 筆

深田氏名精一号百信
 俗款亦精一尾城也臣

大小名區地入
 園景在開春
 江河才海引水
 接山東

白海子名精一題精

植松氏名茂岳号松蔭
 秘扉左二門尾限落位

二也
 山海
 景
 景

大綫親雜省祭壇邊

亂緒誰恩久削平金城海穗接東瀛一年一度鈞天

倉山

樂長揆當初吶喊鼓

清友

普知天下屬昌平二百呈霜頌德清仰見輪奐歡樂

蘭采

曲城松聲合管絃聲
丹楹碧檻廟堂新神德魏々寧四民張席伶倫相叁
伍統場士女競紛綸龍旂列影衣冠肅象舞備容蕭
鼓振祭享儼然如在敬可知宗國百祥臻

伯淹

もく傳めつまでこゝみ保のゆ祖れ神いかけふもがとさうち
かも百歳と三つもさほじいとのこゆさきかかりもの
みこれまよにいふむら三つれま田みまをわともいゆい

三十一

み丹楹のゆ月とらやかくなく臣の初もゆとまのりぬ
かままつらつととさきこめあひてらひきん好とさより大

君の内代とささふやとこよとほひとさきてあま船沖

れこよもあし信らうらわつものあめ海ととのまに
胡夕小ふふあしつり持ちあうつさうあま船小とさあがて

くまのをのたのささくれ又らまひひ下ういふまうらひ
とらうらわとあきて天のトやひけくわいば君のみいとを

そこれこりやさしとすれ人の邦とて

海月うまぬわとわけと湯敷ふこまわく人もまひわそつ

胡り舞まやみほこふとらまてま代もわやく津家くれ

心つらわれほもあ月ふま知くまひのめりこの代ひうひ貝

興達
全



朝宮



朝日柿

朝日柿

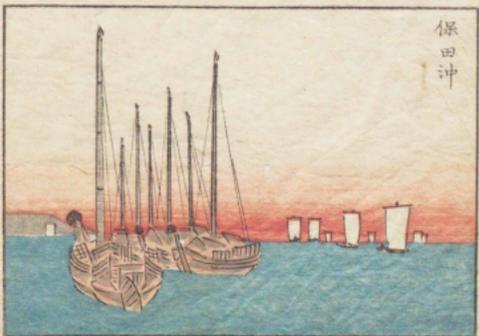
平くよくにむつゝ敷きしりてとらぬとて代や清からん
 管れりもうち尊し神もむとく小柴石代や汗あふむ
 かむけし汗のけあし舞けしる藤のまゆや代とそん
 ちやちや汗のけあしにす人の神やとくけし代とそん
 君う代とそんふりて茶竹のまゆ小柴とそん
 葉盡磊然懸且光幾家红柿映朝陽袖未擔實芭橋
 市顛々脆甘猶帶霜
 又後とむもたりにふく柿のころけのさりし里れりけ
 まり柿の袖れ里小柴の柿のふゆもされてあふむ
 糸のつうねまにゆとや柿一つ

南景 徳瑞 森房 貞足 頼愛
 雲屋 正明 南景 蘭市

笠寺



保田沖



四七六

そふりかすむひよりえちま保田の邊より船

きりくもそを垂りけり船中

ハそかそそやえあたり船の敷

ひろくと船に船より上陸り船

ク寸むりやかきうり船中

ぬり船管事り船の敷

船士のぬり船より船

水も船船りつくそり船

船ハそそやそそ保田の所も船

帆よりそそ船一羽や今所の船

凌

雲寺

愛知郡
稲葉村

通貨

一圓

錦水

三帆

字船

里文

里風

如泉

一瓶

蒲渚



竹
 沙
 井
 山
 輕
 底
 城
 樹
 祠
 去
 城
 興
 正
 秀
 紫
 山

竹
 沙
 井
 山
 輕
 底
 城
 樹
 祠
 去
 城
 興
 正
 秀
 紫
 山



色白它屋瓦赤祠楓

不聞鳴鹿入山深一樹城南恰錦心自是山王慶豫雪峽

氏國風誰嗣大夫音

孤公亭外是康莊裙屐往來紅且芳別有天然閒錦長陽

繡山王祠上一林霜

百樹丹楓絳駐入妍々艷々淙霜辰祠宮銀朱庭園惟萃

錦言是山王豪富神

楓葉漸紅未十分祠邊霧散曙光分夜來霜露知多忠順

少色比昨昏加二分

形然華表護神垣露紫霜嚴野趣繁人笑人歌楓樹清友

下秋風落日錦乾坤

村里の桑林

丹波東の
うらま

名よき

社

山

石

沼龍

桑林一望緑無窮煙火鷄鳴狗吠中豈止成都哉八

秋水

百金城郊外有蠶叢

義綱

わ月よのれそのまをよちやまのこりねのせうり

南景

をりわた里のまの清水あしてまのこひうすまひとん

秀隆

替と多きさの乙女おのう眉つらりもやひまやとん

正隆

極多て親入かぬ切し里のつづきのまやひりく

栗嵜

さしこま常極うてお民の剪れよりくまのつと喃お

圓什

候々おれらひの糸のやちくまのつとやまの村屋

士岳

女子

て

黄

子

竹

一

蟹

一

脚



山玉紅葉



上郡桑林



船入歸帆

瀬江八景の

古岸三竿水晴江十里風歸舟布帆白名帶夕陽紅
 布帆晚出去如飛兩岸輕禽集釣磯君看江樹畫圍
 景漁舟各帶夕陽歸

精一
 秋水

茂松翠竹舊陂塘數隊漁郎撈蟹忙港口無風暮潮
 穩迴帆相逐潯斜陽

文曉

三々還兩々曲浦認歸帆夕影夕陽薄秋風蘆葦咸
 小艇打魚滄海飛千村漢父趁朝暉艦殿向晚響呶
 軋相喚相呼賊岸歸

尚敬
 猛勝

進風まき帆ひくくわのちかまて序々落娘のちか
 夕まれば浦ゆく風まき帆あけてゆく小舟の打もろくを

全 全

榜子のこゝに管のむ名にして去るよおのゆき
 橋ふゆくなれぬおの夕風よふ帆引つれてゆき
 吹風とかなりて何よりおの里たんと物亦
 夕まわすおのつきてよりよゆきおの里たんと物亦
 去帆引てゆき夕よ漕くよゆきおの里たんと物亦
 去帆引帆夕た風と追もておの里たんと物亦
 去信ふよよ風よけて浮帆水
 漕りてそよこおのりよ
 蛭子松 知多郡大泊
 約ふよよおのりよゆきよよ代のおのりよ
 名のおのりよゆきよゆきよゆきよゆきよゆき
 若木 荷菴 純考 通實 木阿 實美 里風 百八 興達 利増

七尾天神堀
 夕ゆきもかくて小をておのりよ
 淡石

凄々切々暮蟬哀菅廟煙高翠機堆想昔宸階納涼
 待断腸應聽此聲未
 誰言蟬噪喚先生七尾祠頭特地鳴側有琅々講帷
 在先生莫謗亂書聲
 菅廟何唯七尾尊高天厚地一忠魂林梢寄語鳴緇
 子莫訴不平催斂鼻
 昔の苦ハアとりのりれくふ許まひて呼桐の了名
 桐や昔かーひのり呼且 和光
 り々ーヤ小山ののーあーし 一得

御茶屋群鴉

俗小竹屋竹丸

國恩依舊及鳥意亞々飛栖茶屋邊不似屋前滄海
變蓬萊清淺壑為田

藤城

おとろて人かあつさるく香ふとちれかすのほささくん

鷗齋

日の芳々 別よあきなり 候の秋
は月十五日土曜川中を過る

一得 竹山

藤江調布

ふとめふの宮うとくを名れば星のまじせし布や敷き山ありし

政續

布まじりちの星は五れ日も消を敷す人やすくん

甫睦

左近衛左兵衛の細布と女川の布をまじりて
血山のこりこりのまじり井のちうくく地す洞布

龍屋

物より上よりこくや風此

石水

1111



七尾天神



御茶屋

藤江調布



洗堰



洗堰

春日井郡
比良村あり

花系さやゆ干き、雪の白ひ
ひろくくまのしの上や揚ぎる
春松
文来

藤城

新堰分川斜洩水堰状低平割川埃雙堤開起關大
溝青松列植如栝比誰乎為之岷山翁三過家門且
經紀昔者本川雨水湧下流百村蛙生鱗後有此堰
除此患難犬恬然保秦梓封洫本出惠人意當初誰
祈子產死及今方偉元凱功堰上勒碑非溢美春江
畫伯又製圖像然列之名區裡外孫玉令欽祖風命
吾圖讚亦有以噫彼碑文既惠之吾詩蛇足聊復爾

浪越城西有莊內川每夏間雨潦水溢安水間
明公夏之水部水野岷山翁處言秦梓封洫大堰於

比良村兩溝渡之患乃止方役初與民不甚便既而溝成向之機者翁然為香其洗澤之大可知矣近垣碩果君建碑於堰上勒其功績今也春江畫伯亦名區小曼畫冊日次出之蓋欲有可同吾見王令於水野翁為外孫也典蓋伯謀余其同吾於聚國年數雖不曾典著朝大議如被新堰之役固牙耳著而目擊

伯淹
 川のつゝつゝ水跡とつげろハ岸のゆをわちのいこと
 新門よりゆるぎてより民竹もいらくあやこさ年もあけ

内郷
 そのかゝたみゆきとせんとせんと人のいことと流きつゝ

良水
 みらひけハ水えりしとせきりりりハとふうてわくき

古渡橋五月雨
 昔者蓬萊跨海簷定應古渡慎風清官橋今日黃梅
 雨清淺漆流數尺高

層雲積而晚遠途古渡無人橋影孤隱映望迷吟未
 定漁炊烟起又糶糊
 收山

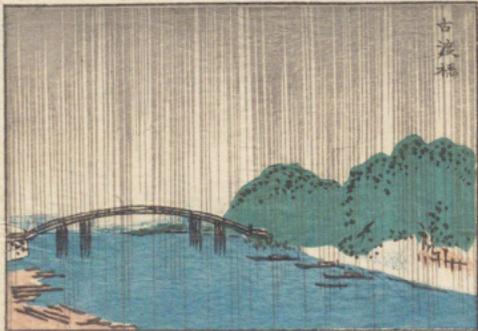
水楊吹綠點難開雲貼長流而入梅不似東風花月
 夕游舳載妓弄春回
 全

霖雨如糸縷濛々天齊凄斷虹江樹北殘日嶺雲西
 沽酒惟高枕出門時杖藜小詩才四韻湯向醉中題
 峯翠

夕月おのろ海りて橋のちもさふそくそくのまき波
 ありまらるるやう形そのつせきふまひきせき夕月おのり
 内郷

橋のよれば床とたててお月おのろわたりと研りうれ
 忠幹

をよみぬく右の橋もほそり流きとるる月雨のひ
 成一



古渡橋



早掛松

つとくくわ月雨の古渡名のいへらぬ橋よりりか
 成るけくわ中月多し程も人ならまきうんち橋そー
 川橋のうへは波こそ中月多しををちれいつてつらん
 園の貴くりりちハ初くさ深もまみりれのちる橋
 ちりし中きもたけ月雨のやとてつるの里はほし

ワラふの芝田法西八方おれり五男月夜少奇智野在坂の里長
 けて別荘びと氏とれゆるた建様年中此伊むし鬼堂とて山使
 わしとてすて破地に去るし其首とて一里とをすはは河
 幸河藏のらまりなとまのり氏と君はははりひんこの橋ちほす
 橋のか一むむた今も切つたれハ

五月 五 や あさきむしりれあさどハ
 店者の若き子次や五月而
 此邊にさしや園此むし例

尚貞
 繁春
 篤親
 景悖
 文曉

勇山
 喜春軒
 琴東



月紙の水二ハあゝヤ 五月 為 壽崔
 多程の傍へありて
 五月 あや 百 八ハさいて若りむ 竹山

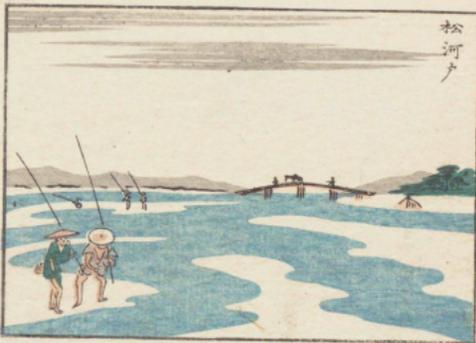
義経弓掛松

下田村
相傳源公義経幼時居遊
此地夢動弓以試夫勇至

蒼辨赤甲勢如龍 正是源郎演武 松豪氣仰稱英主 隆毅
 趾清名何 假始皇封戰風 萬頃濤聲波凌雪千年黛
 色濃 宛看黃昏認遺愛 一彎新月掛弓容
 九郎駐馬青松樹 葉色枝容自凜然 十歲尺餘英勇 惟孝
 氣猶今織月若弓懸

武士のむらさきくはるげの月ほにわよめくさく代 若木
 やまゆくひくさるひろ掛のねのありや雲はくらん 旭臺

松河ナ



蓬萊島



三十一

臣を〜海のや〜りど〜りりきて〜き出〜て〜せよ清水
 舟のよ〜る雲の代られ波う〜く〜む〜き〜り〜りりり
 ぬら〜つ〜れ〜り〜れ〜り〜き〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 持〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 け〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 汁のほ〜ち〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

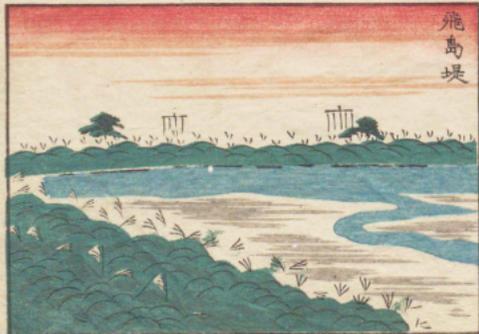
直政
 重鉄
 守手
 標齋

量曾活早枯過一村
 松河戸釣人
 標齋

蓬萊鳴奥田
 氣放山間溪心籠水底魚釣中清意味不識月未初
 龍海



扇川



飛島堤

飛嶋堤薄

けやうの秋よあそこの扇川にまきとくく風もさしん
 なるもや社たあるみれおき川もふくろりり風れ流しと
 水とわかろり池より扇川に舟ややひろくあん
 せ 船や 舟よも 舟ぬ 葉の 中
 りきとせぬ 舟の 葉や そのち
 東風吹やろりくふ舟に雲のより
 け 至や 小雨の 女よ 人ひりり

利増 尚負 宗利 英齋 梅南 村静 高渚 若木 忠順 正次

小野浦



長福寺

小野浦磯巖

加大納言の君お多郡よきのた下し一吋小の浦と
り平の波の差とよてよめ

あちこちし曲し小舟や松屋赤
穂芒や浅せて如川の流るり
西風のくせの舟より 彦 くる

吹風とくろりてや小の備れいそわよ波のむらりりらん
あし波のよれとものく吹風よそく川ものたのまきとれき
むしはほ小より流はと非のいそよたすくくくすて
つく代輝一磯の差とむしりあまの舟や影とそしん
けし波のいもやよせよ音むしちつく波の流るれとどしん
はのうらふたてし差をそくくはくすしはあしれつりか

尚貞 古門 嶋女 峰翠 正明 全 和一 義房 俊有

長福寺

和歌郡 指板岡村

駿甲揚然次峽隅頓止由不得良圖霜降曉寺鐘敲
動感起遺魂能活無

潘一

丑月而活の言やちかかんる一若れとゞさろあく 正良

以 艾もさくてうふや 妹の山 茂東

蒼 吹風や 文や 徒の多 百尺

田 柱吹くまや けけの 柳 探る 甫雀

蒼 しくり げんて 津 糸と ぬれり 阿蘇

朝 風や 枯 声 言 山乃 流 藍川

名 の けね 香の かり 苔の む 浦汲

夕 之の けね ぬけよ ぬき 谷 石 如翠

石角

前津水雜

ありふりよあし 水もや 枯もむ 右橋

例 乃く人のとまけ や 不子 石角

牙城雷鼓管祠鐘聲入官溝起幡龍別有袂鷄報時 藤城

喚前津烟樹曉重々 麻谷

農家隱士誰前津姑惡敲門誰欲觀或報六時要早 藤城

起應催耕織代雞晨 文曉

數里離城典趣深人家一放水田潯棟花槐影薰風 文曉

際洗耳袂鷄角々音 實志

月霧津頭夜漸深菰蒲風戰野池潯閑門刺喙知誰 實志

和僧大明鏡



前津里



矢田河原

津より西へ碓氷川をたどるとのふらふら水鏡のまどとすん
 あれはてしなく新月の月あけて赤はの里に水鏡のや
 ましてぬる赤はの里のなれ戸と帯くぬれぬれぬれぬれ
 里をきき前津の赤田の月影水鏡のなれ戸のなれ戸のなれ戸
 ぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ
 天の戸とすくぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ
 のりぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ
 ふくぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ
 ぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ
 とは津やさなれ水鏡のなれ戸のなれ戸のなれ戸のなれ戸
 内郷 義雄 忠順 吉福 政平 昭房 君政 掃水 一瓶 喜香軒 喬柯

みくろくちもふよと胸て老後の川水をせむり 弁鏡

吹かしの懐り けふき 祈り 因水

日比 うちよのちのちてあふ小石 志友

祖母懐 津守の山の名

祖母懐来清一塊此郷埴埴比来濃陶師春慶幾十 清友

載天下自為衆窳宗

藤翁唐去湍門駐祖母懐埴為造陶茗碗百壺真得 全

妙鳴呼名譽貫天高

祖母懐名萬古傳陶窳有跡草生烟請看模範家々 峰翠

妙遺愛于今土可埴

名らつてもえぬもう懐のふいふとせふれ 守置

祖母懐のふいふとせふれとせふれとせふれとせふれと 知足

塊も破くくや祖母懐のふいふとせふれとせふれと 龍屋

いくとても付ハ控合の若兄うむ 一陶

呼此て土埴もや冬りより 逆齋

早 殿やとつらよ山ひより 松涛

金毘羅社 知多郡横お村

横おの山古よ写や若くくせえうくの井流ふ 利貞

祐もよき乃 殿すやまの山月

甚不子やの唐のあふま指兄 全

中北ひや女中の宛て言多ひ 全

川ふくく白洒賣や茶乃全



高宮



若宮社

高宮

本宮村あり

代治歌のをハクハ揚々
 糸々の浜よ睡々
 ちけわね岬の廻りや舞つし
 伊流てあさうち呼やむ乃吉
 ちぬく町をえりり
 浦ら〜波のうらたに
 八百万井たきすをこのまけ浦里とさ
 浪らし山根島根も
 あ〜河も河よ宮の
 眼の下の伊勢の産と
 高宮
 中人
 信吉
 寄陽
 一瓶
 国水
 松丸女
 孤月
 一念
 春汀



若宮

日名宮
あそび

倚 凡 や む 控 子 の や つ も 咳 宇 青

神門四面對狂瀾 遠裏乾坤別可看 風犯羅端鯨沫
散月沈欄外 塵氣殘靈祠 秋熟前歌廟古寺 年回魚
上 鹽 恰 似 十 洲 又 三 島 不 知 誰 與 羽 仙 軟

洪 倉

あぐらぐもをせぬものいぢりりるをの竹れきふの何 直 通
よりはのひさしとる月とひす好いつくやあひすやえとと 利 増

相生松

あそび
あそび

おののす門ハハハをやむす人法門の水と彩とくわて 普 行
おそれねのそりののりくちて法門のちと代も返さし 真 達
義 貫

